志村 昭暢 〈代表者〉 卯城 祐司 筑波大学教授 中嶋 洋一 正頭 英和 関西外国語大学教授 西垣 知佳子 千葉大学教授 白畑 知彦 深澤 清治 髙塚 成信 広島大学教授 高見 佐知 〈著作者〉 秋山 朝康 文教大学教授 田村 岳充

 秋山 朝康
 文教大学教授

 アダチ 徹子
 筑紫女学園大学教授

 飯島 睦美
 群馬大学准教授

 石原 知英
 鹿児島大学准教授

 板垣 信哉
 尚絅学院大学特任教授

上尾 栄美子 東京都足立区立第五中学校主任教諭

上原 景子 群馬大学教授 胡子 美由紀 広島市立古田中学校教諭 大牛 英則 比治山大学教授 大城 賢 琉球大学教授

大塚 謙二 北海道壮瞥町立壮瞥中学校教諭

大場 浩正 上越教育大学教授

岡崎 伸一 東京都品川区立荏原第六中学校指導教諭

小川 春美 岩手大学准教授

小野寺 達明 岡山市立福浜中学校主幹教諭 楠本 正義 北海道札幌市立栄南中学校教諭

 久保野 雅史
 神奈川大学教授

 佐久間 康之
 福島大学教授

 佐々木 雅子
 秋田大学教授

 佐々木 正彦
 山形大学名誉教授

 島谷 浩
 熊本大学教授

東京都港区立赤坂中学校主任教諭 高野 敬三

鈴木 浩之売鎌倉女子大学教授高梨 芳郎名古屋外国語大学教授

向未 万即 石百座外国品人子教授

〈校 閲〉 カラーユニバーサルデザイン 一般財団法人日本色彩研究所

〈特別支援教育〉

(監修) 北原 延晃

 飯島 睦美
 群馬大学准教授

 半澤 嘉博
 東京家政大学教授

高野 敬三 明 新里 眞男 関

冨田 清髙

名畑目 真吾

西原 真弓

野口 雅史

桶口 晶彦

平塚 貴品

星野 拓也

八木 千鶴

安木 真一

構盪 紳一郎

吉田 喜美子

吉武 正樹

萬谷 降一

若有 保彦

Daryl Villalobos

George Hays

James M. Hall

根本 アリソン

開隆堂出版株式会社

深澤 真

豊住 誠

明海大学副学長 関西外国語大学教授

SUNSHINE では、以下のような工夫や配慮をしています。

北海道教育大学准教授

京都大学学際融合教育研究推進センター特任研究員

立命館小学校教諭

静岡大学教授

岡山大学教授

宇都空大学助教

皇學館大学教授

活水女子大学教授

東北大学准教授

琉球大学准教授

西南女学院大学教授

福岡教育大学教授

北海道教育大学教授

東京国際大学准教授

宮城教育大学特任教授

秋田大学准教授

岩手大学准教授

横浜市立本宿中学校教諭

前鹿児島大学教授・宮崎国際大学特任教授

茨城県笠間市立みなみ学園義務教育学校教諭

株式会社リンク・グローバル・ソリューション

宇都宮大学教育学部附属中学校教諭

佐賀県吉野ヶ里町立東脊振中学校教諭

京都外国語大学・短期大学教授

符波大学助教

堺市立人権ふれあいセンター

- ●カラーユニバーサルの視点から, 色覚の個人差を問わず, できる だけ多くの生徒が見やすくなるように配慮をしています。
- ◆特別支援教育の視点から、書かれている内容が読み取りやすくなるように配慮をしています。
- ●環境に配慮した用紙やインキを使用しています。

※職名は令和2年3月10日現在

開隆堂出版株式会社

http://www.kairyudo.co.jp/

令和3教 内容解説資料

本 社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 TEL 03-5684-6111 北海道支社 〒060-0061 北海道札幌市中央区南一条西6-11 札幌北辰ビル8階 TEL 011-231-0403 東 北 支 社 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-3-10 仙台TBビル4階 TEL 022-742-1213 名古屋支社 〒464-0802 愛知県名古屋市千種区星が丘元町14-4星ヶ丘プラザビル6階 TEL 052-789-1741 大阪支社 〒550-0013 大阪府大阪市西区新町2-10-16 TEL 06-6531-5782 九 州 支 社 〒810-0075 福岡県福岡市中央区港2-1-5 FYCビル3階 TEL 092-733-0174



SUNSHINE (#

学力向上を実現する教科書です。

学力向上を実現する4つの特色

| 特色 | 小学校とのスムーズな接続 🗝 4 |
|------|--|
| 特色 2 | 基礎・基本が確実に定着 6 |
| 特色 3 | 3年間の到達目標が明確 ************************************ |
| 特色 4 | 即興力の育成 10 |

▶知識・技能編

| 表現するための技能が身につく… | 16 |
|------------------|--|
| •表現編 | |
| 読む力と考える力を鍛える | 20 |
| 理解力と表現力を高める | 22 |
| 伝え合う楽しさを味わう | 24 |
| 協働学習で学び合い、高め合う・・ | 26 |
| 能動的な読み手を育てる | 28 |
| | 読む力と考える力を鍛える 理解力と表現力を高める 伝え合う楽しさを味わう 協働学習で学び合い, 高め合う |

Scenes 場面で新出表現が身につく …… 14

| 「地球市民」として豊かな心を育む題材 | 30 |
|-----------------------|----|
| これからの授業を支えるICT教材 | 32 |
| インクルーシブ教育への配慮 | 34 |
| 充実の指導資料・教材 | 36 |
| PROGRAM 授業展開例 ······· | 38 |
| 言語材料・配当時数一覧 | 40 |
| 新学習指導要領 Q&A ······ | 44 |
| 選定のチェックポイント | 46 |





学力向上を実現する4つの特色

小学校とのスムーズな接続

新出表現は小学校と同じプロセスで導入

場面シラバスと 文法シラバスをつなぐ

小学校で慣れ親しんだ「場面を表す絵 (マンガ)を見ながら、やり取りを聞く| 活動を通して,新出表現を学んでいき

つながるストーリーで 場面で表現が身につく

マンガのストーリーは、全セクション を通してつながっているので、 小学校 で学んだ表現も、中学校で学ぶ表現も 場面とともに身につきます。



詳細は **⇒ p.14**, 別冊①

▲ 1年 PROGRAM 2

文字指導への配慮

読みやすさ、書きやすさの工夫

1年生の前半は小学校の教科書と同じフォント、後半は 一般的な活字体に近いフォントを使用しました。





▲ 1年 PROGRAM 0

最初のPROGRAM に位置付け、丁寧に扱いました。

小学校では部分的に触れられている「音と文字の関係」は

小学校の内容を定着させるくり返し学習

oup

fox fox

) pin

帯活動で行うSmall Talk

既習表現や語彙を使って、ペアで行うSmall Talkのコーナー「**Try**」を各課 2~3か所設けました。巻末資料「小学校で学んだ単語」と組み合わせて使うこと で、効率よく小学校語彙の定着が図れます。



▲ 1年 PROGRAM 2



小学校で扱った600 ~700語のうち,480 語をカテゴリーごとに まとめました。



小学校で学んだ「曜 日」,「天気」,「月」 など,必要度の高い 語はWord Webでも

▲ 1 年 Word Web 2

基礎・基本が確実に定着

定着を高める「習得」➡「思考」➡「表現」の流れ

▶とびら

学習の見通しを立てる

- → 各課の目標・評価の観点を共有します。
- ▶ 写真や簡単なリスニングで、 題材への興味付けを行います。



▶ Scenes

基礎・基本を習得する

- ✓ マンガ形式の短い対話で、 新出表現を理解します。
- 新出表現の理解を深めます。

詳細は **→ p.14**, 別冊①



▶ Think

題材内容について考える

- ▼ 文章の中で、新出表現を確認します。
- 受 題材内容について深く考えます。

詳細は **→ p.20**

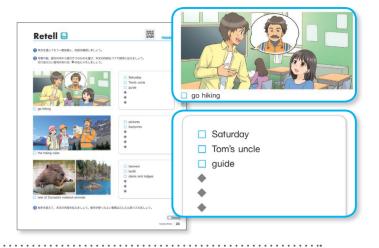


▶ Retell

自分のことばで本文を語る

- 自分が言える内容を選び、本文を再話します。
- ▼ 友だちの発表から学ぶ協働学習を促します。

詳細は → p.22, 別冊②



Interact

自己表現する

- ★新出表現を使う自然な場面設定の中で、 即興のやり取りをします。
- ▼ やり取りの要点を「書くこと」でまとめます。

詳細は **→ p.24**



▲すべて2年 PROGRAM 2

柔軟な授業展開が可能です! 詳細は → p.38





言語材料を分けて学ぶパターン



学力向上を実現する4つの特色

3年間の到達目標が明確

バックワードデザインでの指導計画が立てやすい!

4技能 5 領域を活用するパフォーマンス活動「Our Project 1~8」

Our Project 2

他者紹介

社会的な場面で自分のことばとして英語を使えることを最終目標として、3年間を通してOur Project を8か所配置しました。 「最終的にどんな力を身につけさせたいか」というゴールから逆向きに考えていく指導計画をOur Project を軸に立てることができます。

詳細は **⇒ p.26**

「最終的につけたい力」から 逆向きに各 Projectを設計しました。 通常課などで身につけた力を 各 Projectで存分に発揮します。

1年

Our Project 1 あなたの知らない私



自己紹介

1年生の Goal

自分のことや身近なことについて表現し、 即興で質疑応答ができる。

1年

Our Project 3 私が選んだ1枚



Show & Tell

2年

Our Project 4 「夢の旅行」を企画しよう

2年生の Goal

即興で自己表現できる。

2年

Our Project 5

こんな人になりたい

ポスター発表

自分が関心のある日常的な話題について.



プレゼンテーション

場面と内容は1年生から 段階的に発展していきます

最終的なGoal

Our Project 6

この1年で得た「宝もの」

自己PR

社会的な場面を想定して、

即興でのコミュニケーションができる。



Our Project 7 記者会見を開こう



記者会見



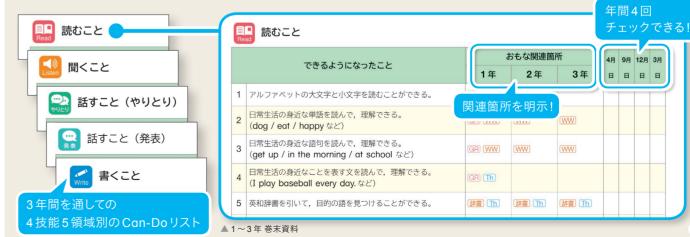
Our Project 8 あなたの町を世界にPRしよう



外国人に 地元のものをPR

社会的な場面

英語で「できるようになったこと」リストで学びの軌跡がわかる!



身近な場面

4

学力向上を実現する4つの特色

即興力の育成

スモールステップを踏んだ3つの活動

4技能の中で最も学力テストの正答率が低い「話すこと」。 SUNSHINEではスモールステップを踏んだ3つの活動で対応します。

4技能のうち「話す」は苦手な生徒が最も多い! 全国学力テスト平均正答率(中学校英語) 聞く 請む 68.3% 書く 10.5% **「話す」は参考値 (未実施の生徒がいるため) ※平成 31 年度 (令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果をもとに作成





「学力テスト」のスピーキングテストに 自信をもって臨める!

▶ Interact

与えられた場面やトピックで行う 即興のやり取りです。

詳細は → p.24

場面・状況・目的に応じて話す

2 好きな人物を紹介しよう

① 好きな人物の写真を見せながら,その理由を話し合いましょう。

- M Ken: Hi! Do you know about Fujii Sota? I like him.
 - Mari: Why do you like him?

Ken: Because he plays shogi very well.

- ② ①で話した相手がその人物を好きな理由を書きましょう。
- Because Fujii Sota plays shogi very well.

▲ 1年 PROGRAM 6



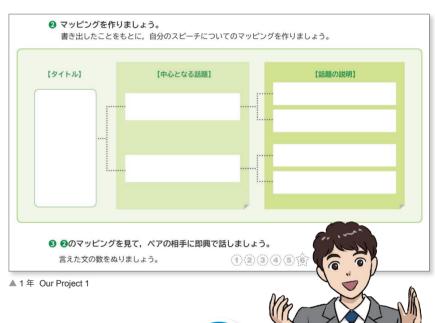


Our Project

原稿の読み上げではなく、メモをもと に発表します。発表を聞いたら、質問 したり、感想を述べたりします。

詳細は ⇒ p.8,26

メモをもとに即興で発表する



正確性も重視

発表の前に、一度原稿を書き起こし、 友だちや先生のチェックを受けます。





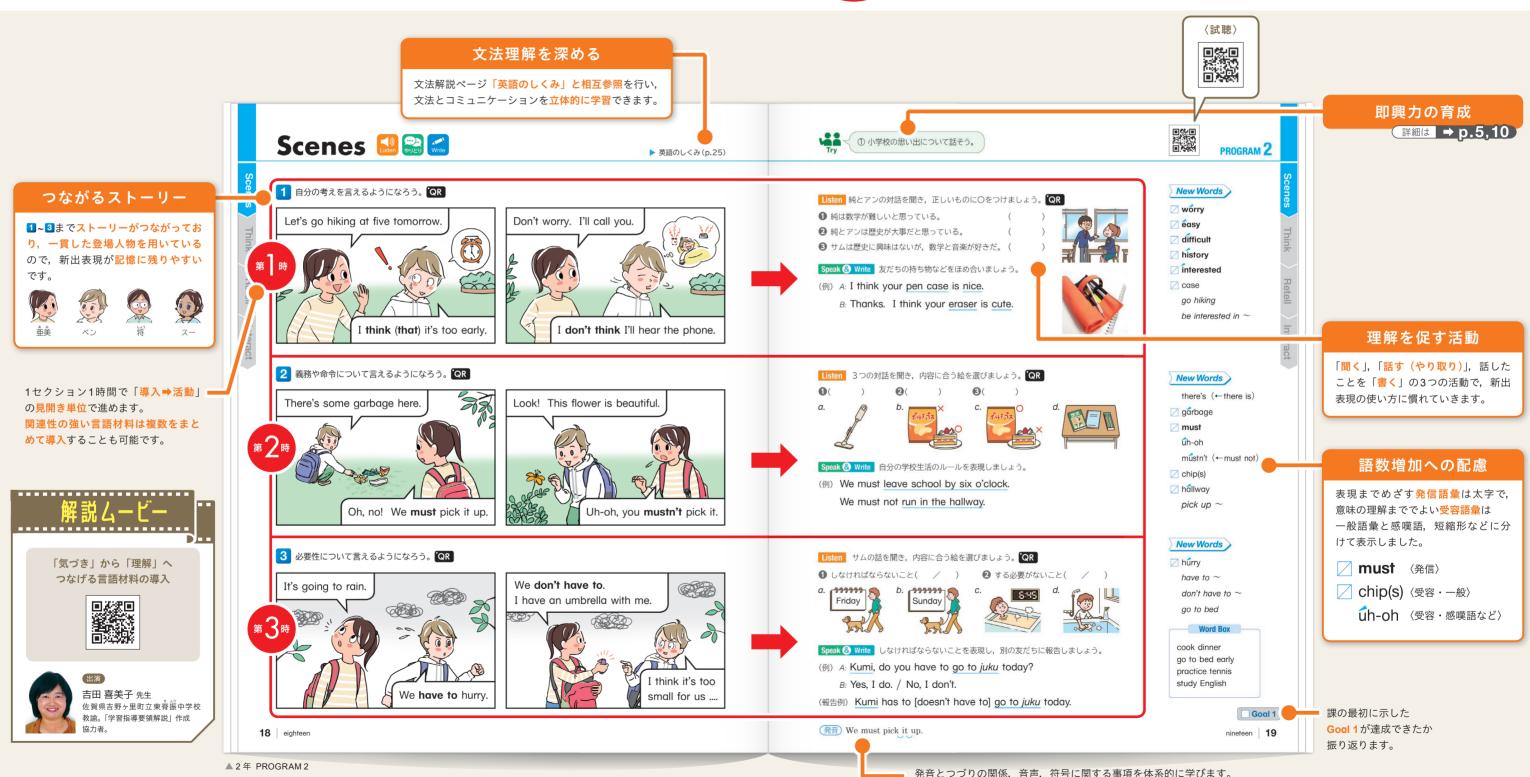
Scenes

場面で新出表現が身につく



新出表現が、どんな場面・ 状況・目的で使われるのか、視覚で理解できます。 肯定文・否定文・疑問文を まとめて学ぶことで、すぐに 自然なやり取りができます。 **3.** マンガのストーリーがつながっているので、その課で学ぶ新出表現をまとめて導入することも可能です。

詳細は → 別冊①



Steps

表現するための技能が 身につく



- マッピング, 文章の構成, 言 いかえなど、アウトプットの 技能が身につきます。
- **7** Our Project の活動が ∠・
 スムーズに進められ ます。
- 9 簡単なディスカッションや **う.** ディベートで、英語での議論 の仕方に触れます。

Steps

考えを整理し、表現しよう 🔡 🙀





発想を広げるには、マッピングを使うと便利です。

エマがマッピングを使って好きなことについてスピーチをします。流れを確認しましょう。

① 思いついたことばを書き出す

soccer

music piano ふせんに書くと, 分類したり並べたり するのに便利だよ。

practice

midfielder

J-pop

Nadeshiko Japan



② ことばを話題ごとに分類する

music J-pop / piano

soccer midfielder / Nadeshiko Japan / practice

③ 話したい話題を選んで話す順番に並べかえ、番号をふる

0 soccer a dribble

3 midfielder

4 Nadeshiko Japan Swatch on TV

マッピングに書いて いないことも. 追加して言ってみよう。



▲ 1 年 Steps 2 「考えを整理し、表現しよう」

1年生

Steps

1. Q&Aの仕方①

5. Picture Description 6. 情報整理と表現活動

2. マッピング 3. 文章の構成①

4. Q&Aの仕方②

7. Q&Aの仕方③

2年生

- 1. メモの取り方①
- 2. 文章の構成②
- 3. 会話のつなげ方、深め方 4. わかりやすい説明の仕方
- 5. 説得力のある主張の仕方

1. ディベート

- 2. メモの取り方②
- 3. 簡単な表現での言いかえ

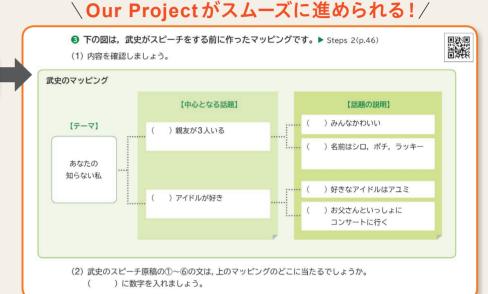
3年生

- 4. つなぎことば
- 5. ディスカッション

▶ Our Project 1

Our Project との連携

マッピングの使い方を習得し. Our Project で生かします。



簡単な表現での言いかえ

英語での言い方がわからないものを、自分が知っている表現で 言いかえる活動で、表現力を養います。



▲ 3年 Steps 3 「簡単な表現で言いかえよう」

ディスカッション

「無人島に1か月暮らすとしたら何を持っていくか」という 生徒の興味を引くトピックで議論します。



▲3年 Steps 5「ディスカッションをしよう」

思考・判断・表現編

知識を活用し、

課題解決できる力を育成します。

Think 20 読む力と考える力を鍛える

Our Project 26 協働学習で学び合い、高め合う

Retell22

理解力と表現力を高める

Reading 28 能動的な読み手を育てる

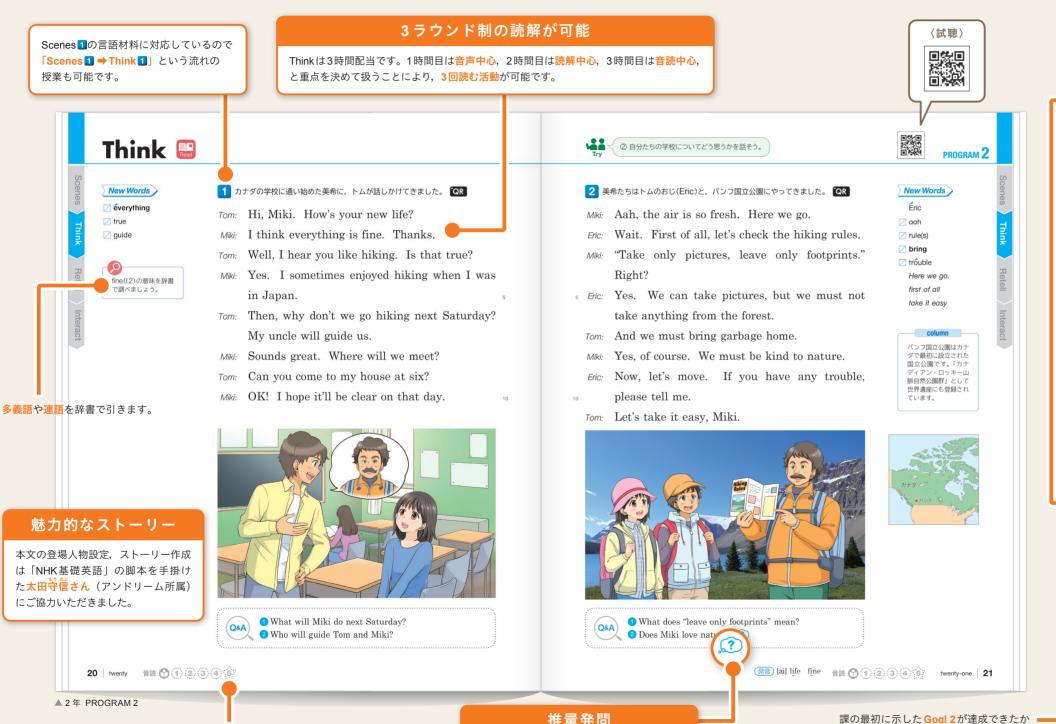
Interact 24 伝え合う楽しさを味わう

Think

読む力と考える力を鍛える



- Scenesと異なる場面・ 文脈の中で、新出表現 の理解を深めます。
- ↑ まとまりのある英文を速く読む ▲・ことに慣れるので、入試の長 文に対応できる力がつきます。
- ↑ 本文の情報をもとに、答えを 推測する「推量発問」で思考 力を鍛えます。



題材を自分に引き付ける 題材内容についての2種類の自由回答形式の設問で、 意見の共通点や相違点を共有します。 ■ 自分がしなければならないと思うことについて話そう。

- New Words 3 湖の近くにやってきた3人は倒されている木を見つけました。 QR believe Miki: How terrible! Who cut down this tree?
 - Tom: I believe a beaver did it. You don't have to worry.
 - Miki: You know about beavers?
 - They're one of Canada's national animals.
 - Miki: Are they? They build dams and lodges, right?
 - Tom: Exactly. They're great engineers.
 - Miki: Do you think we'll see any beavers?
 - Tom: I don't think so. They sleep in their lodges 10 during the day.
 - Miki: Then, we have to be quiet.



1 What do beavers build? 2 Can Miki and Tom see beavers today? (?)

exactly

engineer(s)

we'll (← we will)

獣(国を代表する動物) に指定されています。

5セント硬貨をはじめ さまざまなものにデサ インされています。

Share ① ハイキングで大事なこと

は何でしょうか。 2 身の回りで自然を大切に している取り組みの例を

あげましょう。

cut down ~

22 | twenty-two 音読 🕥 ① ② ③ ④ ⑤ 卷音 [i:] believe beaver sleep

自学自習を促し, 学習の成果が 見えるように音読マークを設けました。 推量発問

より「深い読み」を促し、思考力を鍛えます。

振り返ります。

Retell

理解力と表現力を高める

▲ 2年 PROGRAM 2



- 「自分で言える内容を選ん で話す」活動なので、マ イペースに取り組めます。
- ↑ 友だちの発表のよかった点に 気づかせることで、協働学習に つなげます。
- 学年レベルに応じて、3つの ステージに分けて、活動を 設定しました。

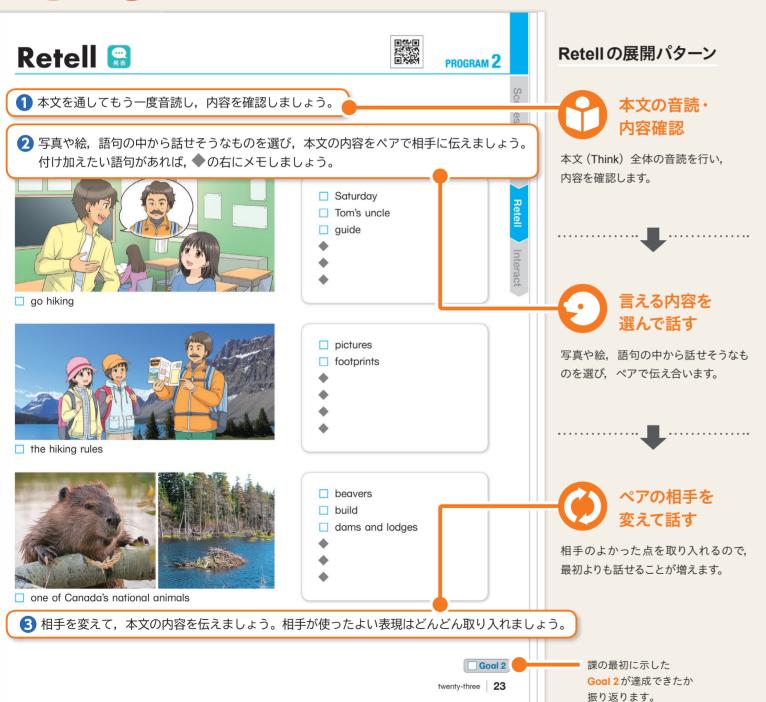
詳細は → 別冊 ②





2nd Stage

語句をもとに話す















Interact

伝え合う楽しさを味わう



- 与えられた場面やトピック で行う即興のコミュニケー ション活動です。
- ↑ 理由まで含めて意見を述べる **・**ので、内容を伴った発話力が 身につきます。
- やり取りした中で、 自分が よいと思う意見を選ぶので, 判断力が身につきます。



場面・状況・目的に応じた即興力が育ちます。



友だちからの誘いを断る

言語材料 現在進行形

◀1年 PROGRAM 8

外国人観光客に 地域の「おすすめ」を紹介する

言語材料 When [If] ~. / must



「あなたのいちばん大切なものは?」という ALTからの質問に答える

言語材料 最上級



外国で体調不良になり、助けを求める

言語材料 ask ~ to ..



留守の友だちの母親に伝言を頼む

言語材料 tell ~ that ...



▶ 3年 PROGRAM 2

Our Project

協働学習で学び合い, 高め合う



- 4技能5領域を統合的に 活用して行うパフォーマ ンス活動です。
- **7** 通常課 (PROGRAM) で学ん だ表現を存分に発揮して自己 表現します。
- 9 身の回りの場面から社会的な 場面まで、自分のことばとし て英語を使う力を育てます。

テーマー覧 **→ p.8**



▲1年 Our Project 1「あなたの知らない私」

モデルの理解・分析



「聞く|「読む|を通して モデルを理解・分析します。



構想を練る・メ モの作成





く | を通して



リハーサル・原稿の修正







「読む」「発表」「書く」を



本番・振り返り



「発表」し、質問やコメントで 「やり取り」し、振り返ります。



コーナー名を "Our" Project としました。

Stepsとの連携

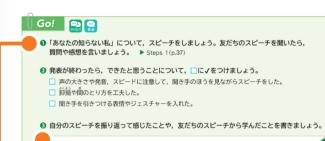
マッピングなどの技能は,事前に Steps (p.16参照) で学習します。





3 スピーチの完成度を高めましょう。 友だちの原稿を読み、アドバイスし合って自分の原稿を直しましょう。

② 原稿が完成したら、スピーチの練習をしましょう。



メモをもとに話し、話したことを書く活 動で、即興性と正確性を両立させます。

発表を聞いたあとは、質問や感想 を言うことを促します。

振り返りと学び合い

友だちの発表からよかった点を学び, 次のProjectに生かします。

Reading

能動的な読み手を育てる



- 読み手を「試す」のではなく、 「寄り添う」設問で深い読みを促します。
- 7 3つのステージ構成で、読んで理解した ことや感じたことを表現につなげます。



視覚的に読解をサポートします。

Malala's Voice for the Future



2 彼女がスピーチをしている場所はどこでしょうか。



▲ 入院中のマララさん(2013年)

(活用) shoot-shot-shot

Read Write

▲ 3 年 Reading 2

100 one hundred

背景情報を掲載

より深い内容理解を促します。

- One child, one teacher, one book, and one pen can change the world. Education is the only solution. Education first." On July 12, 2013, Malala Yousafzai, a Pakistani schoolgirl, spoke at the United Nations for the rights of children's education in the world. All the people listening to her speech were deeply moved by her words. The U.N. called the day Malala Day. It was her 16th birthday.
- 2 About nine months before her speech, Malala was shot by a gunman. Why was she attacked?



New Words 3 Solution Malála Yousafzai Pakistáni Schoolgirl spoke deeply the U.N. Malala Day aunman

発音 [ə:r] world word birthday 音読 (1)(2)(3)(4)(5) one hundred one | 101

2nd Stage

女子が教育を受ける権利を

訴えて武装勢力に狙われたマ

ララ・ユスフザイさん(当時

16歳) は、ニューヨークの

国連本部で演説し、翌年ノー

ベル平和賞を受賞しました。

"One child, one teacher,

one book and one pen"

(/.1) は何を象徴しているの

マララさんは国連でのスピー

move(I.7)の意味を確認しま

チで何を訴えましたか。

2nd Stage

でしょうか。

Check

Check

しょう。

マララさんは、2013年に 世界じゅうの少女に教育の機 会を与える「マララ基金」を 設立しました。

Check

マララさんが描く将来の夢と はどのようなものですか。

Check

マララさんは未来に向けて. 聴衆にどのようなことを呼び かけていますか。

Share

世界じゅうの子どもたちが教 育を受けられるようにするた めに、私たちは何ができるで しょうか.

深い読みを促す3種類の問い

Check 代名詞,多義語,要点などを確認します。

Guess 本文には直接書かれていない情報を読み取ります。

Share 題材を自分に引き付けて考えます。

In her speech, Malala said, "A war can never be ended by a war." "Instead of sending guns, send pens. Instead of sending tanks, send books. Instead of sending soldiers, send teachers."

8 Malala continued to speak out: "Let us dream today. A dream of a bright future. There every girl and every boy are going to school. We are going to be the future and let us make our future now, and let us make today's dreams tomorrow's reality."





New Words 2 tank(s) soldier(s)

104 one hundred four 音読 🕥 (1) (2) (3) (4) (5) 無計 instead teacher speak dream

読み手を育てる3つのステージ構成

1st Stage >>> Pre-Reading

題材に興味をもたせ、概要をつかみます。

While-Reading 2nd Stage

「背景情報+3種類の問い」で、詳細を読み込みます。

Post-Reading 3rd Stage

情報を整理し、読んだことについて<mark>自己表現</mark>します。

3rd Stage

- 1. 次の文を読み、本文の内容と合っていれば〇、違っていれば×を空所に書きましょう。
- 1 At the U.N., Malala talked about the importance of education. 2 After Malala was shot, she was treated in a hospital in the U.S.
- 3 Under the Taliban's control, people could enjoy freedom.
- 4 Malala was the youngest one among the people who received the Nobel Peace Prize.
- (5) Malala helieves that a war is an effective way to end a war
- 2. 本文の内容と合うように、下から適切な語を選び、必要があれば正しい形にかえて空所に書きましょう。 A girl named Malala Yousafzai was born in 1997 in the Swat Valley,

Pakistan. After a Taliban's group came to her town, people had to live a life there. They were not free to get an @ Malala was not 3 . She kept writing about the life in her town in her blogs. Because of that, she was almost 4 _____ on a school bus, but many people worked hard to ® _____ her life. Ever since, she has expressed her opinions throughout the world. She became the youngest person to 6 _____ the Nobel Peace Prize in

2014. Her dream is to make today's dream tomorrow's ® afraid / education / kill / miserable / save / reality / receive

3. もしマララさんにメッセージを送るとしたら、どんなことを書いてみたいですか。

(例) Do you want to go back to your hometown? How do you spend your free time? Why are you so strong?

4. マララさんの国連でのスピーチをインターネットなどで聞いてみましょう。彼女のスピーチを聞いて

3. もしマララさんにメッセージを送るとしたら、どんなことを書いてみ

(例) Do you want to go back to your hometown? How do you spend your free time? Why are you so strong?

 マララさんの国連でのスピーチをインターネットなどで聞いてみまし 心に残ったところをペアやグループで話し合ってみましょう。

自己表現

自分の考えや意見を表現し、伝え合います。

「地球市民」として豊かな心を育む題材

★はCLIL およびカリキュラム・マネジメントに対応した学習が可能です。

日本の伝統を知り、文化を発信する

Let's Enjoy Japanese Culture.

真央がダニエルに書道とかるた



The Year-End **Events**

エミリーは家族で年末の大掃除. ダニエルは母親とおせち料理作 りに励みます



2年

A Gateway to Japan

真央たちが日本のポップカル



3年

Bentos Are Interesting!

3年

A Hot Sport Today

真央はいとこのビルとお花見に



SDGsに関連した題材〈

※ SDGs (持続可能な開発目標) は、2015 年 9 月の国連サミットで全会一致で採択。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030 年を年限とする 17 の国際目標のこと (外務省 HP JAPAN SDGs Action Plotform より)



The Story of Chocolate *



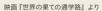
隠れた児童労働が, 学びます



The Way to School



学校に15キロ歩いて 通うケニアの子ども たちについて、学び





Malala's Voice for the Future



マララ・ユスフザイ さんの教育に向ける 情熱を学びます



Work Experience



働くことの意味を考



2 異文化を知り、国際理解を深める

A Trip to Finland★

美希がフィンランドに行ったときの話をします



Taste of Culture

真央たちが日本や海外の屋台料理について 話します







Is AI a Friend or an Enemy?



間近に迫る人工知能 と人間との共存につ いて考えます



Sign Languages, **Not Just Gestures!**



学び, 平等で助け合 う社会の大切さを考



Junior **Safety Patrol**



アメリカでの、生徒 自身が車から自分を 守る交通安全支援に ついて学びます



The Great Pacific Garbage Patch★



世界の海に広がるプ ラスチックごみの実 態を学びます



3. 自然科学に目を向け、生物界の人間として自覚を促す

Research on Australia



High-Tech Nature★

エミリーが父親と, 生物にヒントを得た技術に ついて話します

3年 Good Night. Sleep Tight.★



物たちの力を感じ, 自然環境を守ること

の大切さを学びます



Live Life in True Harmony★



ルソン・マンデラとの 関係を通して人権や正 義について学びます



Leave Only 健とミラー先生が眠りについて話します **Footprints**





これからの授業を支えるICT教材

指導者用デジタル教科書(教材)など

※デジタル教科書・教材は企画中のものであり、仕様は変更になる可能性があります。

デジタル 教科書 (教材)

Scenes

知

識

従来の機能に加え、さらにわかりやすい工夫と新機能や豊富な動画で SUNSHINEの指導をサポートします。

さらに「話す活動」や発音練習に役立つ録音アプリも提供予定です。

多彩な機能で新出表現の定着を徹底サポート!

▶ Scenes 動画

Scenes のマンガをすべてアニメーション 化しました。導入時のリスニングの手が かりとして最適な動画です。







▶音声再牛

主な機能 ● 通常再生, チャンク再生, 役割 再生, 聞きたい箇所だけ聞ける

■ 間隔変換, スピード変換 など

NEW! 録音アプリ提供予定

新出表現も新出語句も、まずは「聞くこと」から始まります。授業の進 度に合わせて機能を設定すれば、新出表現を効率よく導入、定着させ ることができます

新出語句

フラッシュカード機能 ● 提示方法切換

- (英語のみ,英語→日本語, 日本語→英語) 提示順切換(一覧順,ランダム)
- 提示スピード切換 など

interested

これまでのセクション単位の表示に 加え、PROGRAM単位の表示が 可能になります (予定)。

よりわかりやすい文法解説アニメーション (音声付き) に変更予定。



▶ 文字表示

主な機能 ● 全文表示, 役割表示,

- チャンク区切り表示 ● カラオケ on/off 機能
- 単語マスク, 文マスク,
- 選択マスク、品詞マスク ● 全文日本語訳, 部分日本語訳 など

拡大表示、日本語表示など、多様なマスキング表示が可能です。

デジタル教科書 (教材) 動作環境 (予定) 開隆堂はAIを使った教材開発も進めています

Windows • iPad • Chromebook



スピーキングをAIが自動採点! 英語 4 技能対策アプリ ELST® English Listening & Speaking Testing



教科書学習や高校入試対策のためのリ スニング学習、スピーキング学習がで きる画期的なアプリ。リスニング・スピー キングテストにはAIによる自動採点を 導入。教科書の本文・文法事項・単語 等を収録。

(株) サインウェーブより発売予定

豊富な動画と使いやすい機能で、思考力と表現力の育成を助けます。



NEW! ▶ Think 動画

Think の場面をアニメーション化。 導入時の内容把握の手がかりとして最適。

主な機能

● 英語字幕 on/off

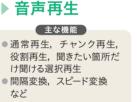




Retell 1 本文を通してもう一度音読し、 内容を確認しましょう。

ジでもリテリング機能が使えます。

見やすさ調整 文字・色調整





□ ▶文字表示

主な機能

● 全文表示, 役割表示, チャンク区切り表示

● カラオケ on/off 機能 ● 単語マスク, 文マスク, 選択マスク, 品詞マスク ● 全文日本語訳,

部分日本語訳 など

拡大表示、日本語表示など、多様なマスキング表示が可能です。

Retel

Think

思考力

判断

ペン機能

読みやすさ調整

■ NEW! ► Retell 機能

NEW! 録音アプリ提供予定

主な機能 ●教科書に掲載されていない 語句の入力 (予定)。

ル教科書(教材)ではRetellページだけでなく、本文のどのペー

写真や絵、語句を使って、本文の内容を再現する活動。デジタ

各PROGRAMの本文題材の背 景, 関連資料を映像化。本文に 対する生徒の興味・関心を引き出 し. 理解を深めます。



資料映像

主な機能 英語ナレーション 英語・日本語字幕 on/off





だれもが使いやすい「まなビューア」を採用

個々の生徒の実情や特性に合わせて,

●読み上げ機能

紙面拡大・縮小、貼り付け機能、紙面ふりがな表示・非表示、

●印刷機能

デジタル教科書をより使いやすくするための基本機能を搭載しています。 主な機能 ●主な道具機能 紙面読み上げ、リフロー画面読み上げ ふせん機能, 図形・線画機能. ペン機能 ハイライト表示・非表示、紙面表示の明るさ調節、色の反転パターン切換

インクルーシブ教育への配慮

特別支援教育への対応

特別支援教育校閱 飯島 睦美先生(群馬大学准教授)/半澤 嘉博先生(東京家政大学教授)

読みやすい紙面 ゆとりを持たせた見やすい紙面に、次のような工夫をしました。



拡大教科書を用意

弱視の生徒を対象に、通常の教科書の本文や図表などを 大きくし、見やすく配置した拡大教科書を用意します。 ※画像は平成28年度版のものです



デジタル教科書・教材における配慮

弱視などの生徒が安心して学べるように、デジタル教科書・教材でも 次の機能を入れています。※画像は小学校英語の教科書のものです

▶ 色の反転機能 背景と文字の色を反転させます。



▶読み上げ機能 教科書紙面をすべて読み上げます。



外国籍の生徒への対応

監修 木山 三佳先生 (明海大学教授)

日本語を読むことに慣れていない外国籍の生徒への配慮として、各PROGRAMの学習目 標などを7か国語(英語,韓国語,スペイン語,中国語,タガログ語,ベトナム語,ポル トガル語)で作っています。

英語

A Hope for Lasting Peace

- lacktriangle Learn how to say "I've been \sim for [since]"
- ♦ Discuss the efforts to recycle paper cranes and talk about peace.
- ♦ Interview each other while pretending to be the person you like.

8 A Hope for Lasting Peace ◆「ずっと~している」という言い方を学びます。 ◆折り鶴をリサイクルする取り組みや、平和について話します。 ◆自分の好きな人になったつもりで、すすんでインタビューをし合います。

8 A Hope for Lasting Peace

- ◆ 学习表达"状态的持续"的说法。
- ◆ 通过折千纸鹤活动,对和平问题展开讨论。
- ◆ 假设自己成为自己所喜欢的人, 互相积极地采访。

韓国語

8 A Hope for Lasting Peace

- ◆ 「계속~하고 있다」의 말하는 법을 공부합니다.
- ◆ 종이학을 재활용하는 활동이나 평화에 관해 말합니다.
- ◆ 자기가 좋아하는 사람의 입장에서 적극적으로 인터뷰를 서로 해봅니다.

タガログ語

- 8 A Hope for Lasting Peace
- ♦ Malaman kung paano sabihin ang pahayag na "Palagi kong...." (isang bagay na laging ginagawa)
- ♦ Pag-usapan ang mga hakbang sa pag-recycle ng mga folded crane at pag-usapan din ang tungkol sa
- ♦ Mag-panggap na ikaw ang taong paborito mo at makipag-palitan ng interview sa iba.

充実の指導資料・教材(予定)

※表中の商品は企画中のものであり、仕様は変更になる可能性があります。

▶ Teacher's Manual 自学自習用としても利用できるワークシート類が豊富!

解説編

Teacher's Book (朱書編)

Scenes ワークシート

Retellワークシート

Interactワークシート

コミュニケーション・ワークシート

リーディング・ワークシート

スパイラル学習ワークシート

テスト問題シート

Teacher's CD

教科書データCD-ROM

教科書の本文訳,スクリプト,解答,内容解説のほか,Can-Doリスト, 指導手順、評価や題材に関する詳細な情報を掲載。

モデル授業案をはじめ、各コーナーを効果的に生かす授業方法を提示。

指示文の英訳,練習問題の解答例,スクリプト,指導上の留意点, 発音上の留意点のほか、授業に必要な情報を簡潔に掲載。

Scenes を効果的に使うためのワークシート。全ての Scenes 分を用意。

Retellを支援するワークシート。全てのRetell分を用意。

Interactを効果的に使うためのワークシート。全てのInteract分を用意。

Interact以外の活動例を例示。

本課を学習したあとに、本課と似たテーマの題材が読めるワークシート。

これから学習する課の直前までの既習事項で問題を構成。

生徒の理解度をチェックするためのリスニング、読解、英作文問題を掲載。

教科書のリスニング部分の音声を収録。

教科書本文, リスニングスクリプト, ALTとの協同授業案, 上記ワークシート類のデータを収録。

▶デジタル教科書・教材



指導者用デジタル教科書(教材)

- 新出表現の定着を多彩な機能でサポートします。音声再生 (通常再生・チャンク再生・選択 再生など)、マスキング表示、日本語訳表示など。
- 各セクションの Scenes, Think を動画化。アニメーション動画により内容理解を促します。
- セクション単位、PROGRAM単位でも使えるフラッシュ・カード機能。
- ●「話す活動」や発音練習に役立つ録音アプリを提供予定。

学習者用デジタル教科書+教材

制作予定

詳細は ⇒ p.31

▶ Web 版シラバス



携帯端末を使用して、授業直前などいつでも 簡単に授業のシラバス例が確認できます。



▶指導用教材(教師用)

スクール版CD

教科書本文をはじめ、各コーナーで必要な音声素材を収録しています。

教科書本文をはじめ、各コーナーのイラストをB3判の大きさで収録しています。 前時の授業の復習や新出事項の導入など、様々な言語活動に利用できます。

フラッシュカード

新出語と重要な連語を網羅。単語ではいちばん強く読む箇所にアクセント記号を 付しているので、発声練習にも使えます。

▶ 学習用教材(生徒用)

ペンマンシップ (英習字帳)

アルファベット、単語、文を正確に書く練習ができる英習字帳です。

本文の練習、先生の説明、重要表現などを、広いスペースに自由に書き込めるノートです。

ワークブック

教科書に出てくる新出文法事項、単語・熟語を定着させるための確認問題や、 本文内容のリスニング問題などで構成されています。

テスト予想問題集

教科書の内容に沿って作られた実践的な問題集です。 適語補充,整序,読解など多様な形式の設問を扱っています。

英単語・熟語

教科書に出てくる単語と熟語を出現順に取り上げ、教科書とは別の例文を掲載しています。

サンシャイン英和辞典

初めて英和辞典を引く人のために、見やすく大きい活字で印刷しています。 SUNSHINEに出てくる中学校の基本語を最重要語として扱っています。

▶自学自習への配慮

- このサイトのコンテンツはインターネット上で見るようになっています。 インターネットを長時間利用すると追加料金が発生することがあるので、

QRコンテンツ利用への 注意喚起

しています。

家庭学習で使えるワーク コンテンツの利用時には必ず先 シートをダウンロードし 生や保護者へ確認することを促 てお使いいただけます。

自学自習の

サポートツール

PROGRAM 授業展開例

2年 PROGRAM 2 の場合



2~3時間目

4~6 時間目

.....

7時間目

8時間目

トとびら

● 学習目標や話題を導入・確認する。



Scenes 1

1 自分の考えを言えるようになろう。 QR



- ●新出語句を確認する。
- マンガを見て、状況設定を考える。
- 音声を聞き, 会話内容を理解する。
- 会話の音読をくり返し、 台詞を足したり変更したりする。
- Listen, Speak & Writeを行う。
- ※適宜、各課末の「英語のしくみ」を参照する。Scenes 2 を 先行して進めたり, スキット作りを行ったりしてもよい。

言語材料をまとめて学ぶパターン

▶ Try

●与えられた話題で、ペアでSmall Talkを行う。

▶ Scenes 2, 3





● 前時の復習をしながら、Scenes 1と同様に行う。

▶ Try

●2~3時間目と同 様に行う。

▶ Think 1,

- 2, 3
- ピクチャーチャー トを使い, 本文内容を口頭 導入する。
- 新出語句を確認
- 文内容を理解する。 ● 音声を聞き、本
- Q&Aで本文の内
- ペアで音読練習
- (3のみ) Shareで

意見を交換し合う。

をする。

容を確認する。



言語材料を分けて学ぶパターン



▶ Retell



pictures footprints

☐ Tom's uncle

guide

□ begvers

dams and lod

□ build









Interact



1 Our School Trip

●「修学旅行で訪れたい場所」について、 グループでディスカッションする。

2 A Good Pet

- グループのメンバーを変え、 「ペットにするとよい動物」について ディスカッションを行う。
- 再度グループのメンバーを変え、 同じテーマでディスカッションを行う。
- 2回ディスカッションをしたあと、 「ペットにするとよい動物」について 自分の考えを書く。

2 A Good Pet

① ペットにするならどんな動物がよいと思いますか。 理由も入れて, グループで

- (6) A: I think cats are good pets because we don't have to walk
- B: I see. But cats often sharpen their nails on furniture. We have to train them
- A: You are right. Then, what's your idea?
- B: I think rabbits are good because they are small and cute.



② 友だちの意見を聞いたあとで、自分がもっともペットにしたいと思った動物と



- Think 全体の音読を行い、 本文の内容を確認する。
- 写真や絵を参考に、キーワードの中から 話せそうな内容を選び、ペアで伝え合う。

one of Canada's national animals

- 相手の発表でよかった点を取り入れ, ペアを変えて数回行う。
- ●自分が話した表現を書く。

言語材料・配当時数一覧

GR = Get Ready

OP = Our Project

St = Steps

PU = Power-Up

WW = Word Web **R** = Reading (2, 3年のみ)

FR = Further Reading (3年のみ)

SP = Special Project (3年のみ)

〈1年生〉

※青字は小学校での学習範囲(部分的な扱いも含む)

| 課 | タイトル | おもな言語材料 | 配当時数 |
|---------|-------------------------------|---|------|
| GR | 中学校英語をはじめよう | 小学校英語の復習 | 6 |
| 0 | アルファベットを確かめよう | 音と文字の関係 | 0 |
| | 辞書を引いてみよう | 辞書の使い方 | 1 |
| 1 | 友だちを作ろう | be動詞(肯定 / 否定 / 疑問)/ Where ~? | 5 |
| 2 | 1-Bの生徒たち | 一般動詞(肯定 / 否定 / 疑問)/ When ~? | 5 |
| | アクションコーナー | 命令文・否定命令文 | 1 |
| 3 | タレントショーを開こう | 助動詞 can(肯定 / 疑問 / What can you ~ ?) | 5 |
| OP1 | あなたの知らない私 | ▶復習(自己紹介) | 4 |
| 4 | Let's Enjoy Japanese Culture. | This [That / He / She] is \sim . / Who \sim ? | 5 |
| 5 | Junior Safety Patrol | 三人称・単数・現在 | 5 |
| 6 | The Way to School | 目的格(him, her)/ Why \sim ? Because \sim . | 5 |
| 7 | Research on Australia | There is [are] \sim . / How \sim ? | 5 |
| OP2 | この人を知っていますか | ▶復習(他者紹介) | 4 |
| 8 | The Year-End Events | 現在進行形 | 5 |
| 9 | A Trip to Finland | 一般動詞の過去形(規則・不規則) | 8 |
| 10 | Grandma Baba's Warming Ideas! | be 動詞の過去形 / 過去進行形 | 8 |
| ОР3 | 私が選んだ1枚 | ▶復習(Show & Tell) | 4 |
| St1 ∼ 7 | 英語でやりとりしよう ほか | 疑問文のまとめ ほか | 各1 |
| PU1 ∼ 6 | 持ち主をたずねよう ほか | Whose ~ ? / 所有代名詞 / Which ~ ? | 各1 |
| WW1 ∼ 5 | 数 / 曜日と天気 / 順番・日付の言い方 ほか | 小学校で学んだ語彙の復習 | 各1 |

合計 94 (時間)

☑ 関連性の強い言語材料は、課単位でまとめて学習できるように配列しました。

☑ 年間授業時数140時間の70 ~ 75%で時数設定しているので、余裕をもった指導が可能です。

〈2年生〉

※赤字は新学習指導要領で新しく加わった事項

| 課 | タイトル | おもな言語材料 | 配当時数 |
|---------|------------------------------------|--|------|
| | 辞書を読んでみよう | 辞書の使い方 | 1 |
| 1 | Start of a New School Year | 未来表現 / 接続詞(when / if) | 8 |
| 2 | Leave Only Footprints | 接続詞(that)/ must , have toの文 | 8 |
| 3 | Taste of Culture | 動名詞 / 不定詞(3用法) | 8 |
| OP4 | 「夢の旅行」を企画しよう | ▶復習 (グループプレゼンテーション) | 4 |
| R1 | Gon, the Little Fox | ▶復習 | 4 |
| 4 | High-Tech Nature | 比較表現 | 8 |
| 5 | Work Experience | know how to do / look + 形容詞 / show + 人 + 物 | 8 |
| 6 | Live Life in True Harmony | 受け身 | 8 |
| OP5 | こんな人になりたい | ▶復習(ポスター発表) | 4 |
| R2 | Friendship beyond Time and Borders | ▶復習 | 4 |
| 7 | A Gateway to Japan | 現在完了形(完了,経験) | 8 |
| 8 | A Hope for Lasting Peace | 現在完了形(継続)/ 現在完了進行形 | 7 |
| OP6 | この1年で得た「宝もの」 | ▶復習(自己PR) | 4 |
| R3 | Visas of Hope | ▶復習 | 4 |
| St1 ∼ 5 | 文章の構成を考えよう ほか | つなぎことば ほか | 各1 |
| PU1 ∼ 5 | 電話をかけよう ほか | May I∼? など | 各1 |
| WW1 ∼ 5 | 形容詞 / 前置詞 ほか | 語彙の強化 | 各1 |

合計 103 (時間)

WW1 ~ 3 家の中と外/動詞の使い分け ほか

SUNSHINE DATA

| 〈3年生〉 | | ※赤字は新学習指導要領で新し | く加わった事項 |
|---------|------------------------------------|---|---------|
| 課 | タイトル | おもな言語材料 | 配当時数 |
| | 辞書を使いこなそう | 辞書の使い方 | 1 |
| 1 | Bentos Are Interesting! | tell \sim to \emph{do} / It is + 形容詞 + to \emph{do} / $\emph{I'm}$ afraid (that) \sim | 8 |
| 2 | Good Night. Sleep Tight. | 間接疑問文(肯定・疑問)/ tell + 人 + (that) ~ | 8 |
| 3 | A Hot Sport Today | call + 人 ~ / make + 人 + 形容詞 / <mark>使役動詞</mark> | 8 |
| OP7 | 記者会見を開こう | ▶復習(記者会見) | 4 |
| R1 | Faithful Elephants | ▶復習 | 5 |
| 4 | Sign Languages, Not Just Gestures! | 現在分詞,過去分詞の後置修飾 | 7 |
| 5 | The Story of Chocolate | 関係代名詞(主格) | 8 |
| 6 | The Great Pacific Garbage Patch | 関係代名詞(目的格)/ 関係代名詞(目的格)の省略 | 8 |
| OP8 | あなたの町を世界に PR しよう | ▶復習(外国の人に地元のものをPR) | 4 |
| 7 | Is AI a Friend or an Enemy? | 仮定法過去 | 8 |
| R2 | Malala's Voice for the Future | ▶復習 | 5 |
| SP | 中学校の思い出を残そう | ▶復習(中学校生活の振り返り) | 2 |
| FR1 | The Ig Nobel Prize | ▶復習 | 3 |
| FR2 | Library Lion | ▶復習 | 6 |
| St1 ∼ 5 | わかりやすい文章を考えよう ほか | つなぎことば ほか | 各1 |
| PU1 ∼ 4 | 道案内をしよう ほか | Could you tell me how to get to \sim ? ほか | 各1 |
| | | | |

語彙の強化

合計 97(時間)

各1

| | | 1年生 | | 2年生 | | 3年生 | | 合計 | |
|-----------------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | ページ数 | 平成28年 | 令和3年 | 平成28年 | 令和3年 | 平成28年 | 令和3年 | 平成28年 | 令和3年 |
| 本文 [,] | ページ | 124 | 124 | 114 | 118 | 96 | 112 | 334 | 354 |
| 付録· | ページ | 28 | 36 | 38 | 42 | 48 | 40 | 114 | 118 |

| 課数 | 平成28年 | 令和3年 | 平成28年 | 令和3年 | 平成28年 | 令和3年 | 平成28年 | 令和3年 |
|----------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| 課数 | 11 | 10 | 12 | 8 | 9 | 7 | 32 | 25 |
| 本文セクション数 | 30 | 22 | 35 | 24 | 29 | 21 | 94 | 67 |
| 基本文数 | 26 | 24 | 25 | 23 | 19 | 20 | 70 | 67 |

| 新語数 | 平成28年 | 令和3年 | 平成28年 | 令和3年 | 平成28年 | 令和3年 | 平成28年 | 令和3年 |
|-----------|------------------|------|------------------|------|------------------|------|--------------------|-------|
| 新語(発信語彙) | 524 [*] | 178 | 412 [*] | 114 | 305 [*] | 32 | 1,241 [*] | 324 |
| 新語 (受容語彙) | 324 | 295 | 412 | 408 | 305 | 455 | 1,241 | 1,158 |
| 固有名詞等 | (48) | 51 | (83) | 41 | (112) | 51 | (243) | 143 |
| 総新語数 | 524 | 524 | 412 | 563 | 305 | 538 | 1,241 | 1,625 |

※平成 28 年度版では、発信語彙と受容語彙には分けておらず、また固有名詞等は新語として扱っていません。

| 配当時数 | 平成28年 | 令和3年 | 平成28年 | 令和3年 | 平成28年 | 令和3年 | 平成28年 | 令和3年 |
|--------------------------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| PROGRAM, Reading | 58 | 62 | 61 | 75 | 52 | 65 | 171 | 202 |
| Power-Up | 15 | 6 | 17 | 5 | 14 | 4 | 46 | 15 |
| My Project / Our Project | 12 | 12 | 12 | 12 | 14 | 10 | 38 | 34 |
| その他(Steps, Word Web等) | 11 | 14 | 10 | 11 | 5 | 18 | 26 | 43 |
| 슴計 | 96 | 94 | 100 | 103 | 85 | 97 | 281 | 294 |

新学習指導要領Q&A

新学習指導要領で求められている内容とSUNSHINEでの対応について、Q&A形式でご説明します。

Q1. 「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質・能力を柱として、

実際の場面で英語を使ってコミュニケーションできる力の育成が求められています。

- 通常課をScenes(導入)→Think(本文)→Retell(再話)→Interact (やり取り) という、「知識・技能の習得」を「思考力・判断力・表現力等」につなげる構成に、扱う題材は「学びに向かう力・人間性等」につながる内容になっていて、言語材料の導入からコミュニケーション活動まで効果的に行えます。
- Q3. 限られた時間の中で学習効果の最大化を図るため、学校全体で「育てたい資質・能力」を共有し、教科横断的な視点で指導を行うことが求められています。
- A3. CLIL (内容言語統合型学習) をはじめとする教科 横断型カリキュラムに対応するため,本文の題材に SDGs (持続可能な開発目標) 関連の題材 を取り そろえました。
- **Q5** 扱わなければならない語数は1,600 ~ 1,800 語に増加し、表現できることを目指す発信語彙と、意味が理解できればよい受容語彙を意識して指導することが求められています。
- A5。 新出語は重要度が視覚で認識できるように、発信語彙は太字、受容語彙は一般語彙と固有名詞の2つを区別して表示しました。さらに学習負担を考慮し、1~3年生で合計1,600語程度の新語に留めました。

Q2. 生徒自身が学習の成長を実感できるようにする、対話によって自分の考えを広げたり深めたりする、物事を捉える「見方・考え方」を働かせて深い学びにつなげる、

こうしたことが実現できるよう求められています。

- A2. 3年間を通じてのCAN-DOリストを巻末に提示し、パフォーマンス活動(Our Project)はやり取りなどの言語活動を通して、他者の意見を取り入れながら、内容の質を高めていく流れとしました。本文を読んだあとには、多様なものの見方や考え方を共有できるような問い(Share)を設けました。
- **Q4.** 「話すこと」が「発表」と「やり取り」の領域に分けられ、「やり取り」では、相手の言ったことに「即興で」対応できる力や、 聞いたり読んだりしたことについて、意見を述

べ合うなどの力の育成が求められています。

- A4. 「即興力の育成」には特に力点を置いています。帯活動のコーナー Try,通常課最後の活動 Interact をはじめとして,Our Project でも原稿を読み上げるのではなく,メモをもとに発表することを促しています。また,友だちの発表を聞いて即興で質問やコメントをしたり,それに答えたりする活動を設けました。
- **Q6** 現在完了進行形や仮定法など、 従来は高校で扱われていた文法・文型の一部を中学校で扱うことになりました。
- A6. 通常課のScenesでは、マンガ形式の対話で新出表現を提示しているので、高校から移動してきた学習事項についても、小学校や中学校のものと同様にどのような場面・状況・目的で使う表現なのかが無理なく理解できます。

- **Q7** 語彙や文法など知識の集積のみでなく 「活用する」ことまで求められています。
 - A7. 通常課は、Scenesで語彙・文法を自然な場面で導入し、Thinkでは異なる文脈の中でそれらに触れ、Retellでは本文内容を自分のことばで表現させ、Interactでは場面に応じて表現できるようにする構成となっています。さらに、4技能5領域を統合的に活用して行うパフォーマンス活動 Our Projectを1~3年生まで計8か所に設けました。
- 自律的な学習者の育成が求められています。
- A8. アルファベットの書き方や辞書の引き方から入り、音の変化やフォニックスを意識させ、さらにいろいるな言語材料を学び、その都度自分自身の意見が発信できるよう、学年が上がるごとに新たな目標を設定し、自分が何を学んでいるのか意識できる構造になっています。また、Retellなどでは、他者の発表を見てよいところを学び合う(取り入れることを促す)ことができます。

ここからは小中高接続に関連する SUNSHINEのいろいろな工夫について見ていきましょう。

- **Q1.** 小学校からの接続 のために どんな工夫をしていますか。
- 小学校英語からの橋渡しページとしてGet Ready とPROGRAM 0を設け、小学校で学んだ表現、および「アルファベット」や「つづり字と発音」など文字に関わる内容を丁寧に確認できるように配慮しました。また、新出表現についてはScenesで、絵を見ながら音声を聞くという小学校で慣れ親しんだ活動を通して導入できるようになっており、Small TalkのコーナーTryで小学校で学んだ語彙や表現をくり返し使うことで定着できるように配慮しました。
- **Q2.** 高校入試への対応 は なされているでしようか。
 - A2. 通常課のThinkでは本文をまとめて読む構成なので、普段の授業からまとまりのある英文を読む訓練になります。また、2、3年生に配置したリーディングではセクションを撤廃し、通常課よりも語数の多い文章を読みます。3年生の最後の2つのFurther Readingでは、1つが論理的な説明文、もう1つが文学作品で英国人児童作家が執筆した1,000語超の物語文を読んでいきます。国語との関連から、味わいのある文学作品への理解を深めることもできます。





選定のチェックポイント



詳細な資料は開隆堂ホームページを ご覧ください。

https://www.kairvudo.co.ip/

内容

▶全体的特長

- 小学校英語で慣れ親しんできた音声を文字に結びつけ、中学校でのコミュ ニケーション活動へスムーズに接続されるように工夫されています。
- ② 「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力等」, 「学びに向かう力・人間性等」 の3観点がバランスよく配列され、教えやすく、生徒には学習事項が定着 しやすい通常課 (PROGRAM) 構成になっています。
- 3 4技能5領域の総合的育成を目指し、生徒自身が学習の成長を実感でき るとともに、対話によって自分の考えを広げたり深めたりすること、読ん だことについて物事を捉える「見方・考え方」を働かせて深い学びにつな げられる構成になっています。
- ④ 到達目標としてのパフォーマンス活動 (Our Project) を1, 2年に3か所, 3年に2か所配置し、明確な目標をもって学習が進められるとともに、こ の活動を軸としたバックワードデザインの指導計画が立てやすい構成に なっています。
- ⑤ 限られた時間で学習効果を最大化でき、学校全体で「育てたい資質・能」 力|を共有し、教科横断的な視点での指導を見すえた題材の選定、学校 の実態に即して柔軟に授業の組み立てができる構成になっています。

- 6 相手の言ったことに「即興で」対応できる力を養う活動が豊富に配置され ており、聞いたり読んだりしたことについて、意見を述べ合うなどの力が 育成できる構成になっています。
- 7 中学校で取り扱う語数の増加に伴う発信語彙と受容語彙を意識しての指 導や、従来は高校で扱われていた文法・文型が中学校でスムーズに学習 できる構成になっています。
- ⑧「グローバルな視野をもった地球市民」を育てるために、視野を世界に広 げ、豊かな感性を育むことができる題材が選定されています。
- ② 3年間を見すえた「Can-Doリスト」や段階ごとの目標を設定し、学び合い、 高め合う「協働学習」、ふり返りの「自己評価項目」など、今日的課題へ の対応が積極的に取り入れられ、創意工夫が十分なされています。
- 指導者用デジタル教科書は、英語学習に効果的と判断される動画等を効 果的に配置し、指導の負担が軽減できるようになっています。

▶個別的特長

〈1〉言語材料

- 音声 個別音素の識別,対比,リズム,音調,発音とつづり字の関係など が各セクションの欄外下にあり、イントネーション、強勢、区切りな どについては各学年に3~5か所設けたコラム(発音クリニック)の 中で丁寧かつ系統的に示されています。
- 語彙 取り扱う語数が1.600 ~ 1.800語に増加し、表現できることを目指 す発信語彙と、意味が理解できればよい受容語彙を区別し、適切に 意識して指導できるようになっています。

〈2〉言語活動

- 通常課の活動は導入,本文,本文の付帯活動,活動の順に4技能を基礎 から総合的に育成できるように配置され、自己表現活動の課題 (Interact) を中心に設定し、自らコミュニケーションを図ろうとする意欲・態度を培 うようになっています。
- 本課とは別に4技能それぞれの技能に特化したページ (Power-Up) が設 けられており、単独の技能から複数の技能へと統合的に活用できるコミュ ニケーション能力を育成できるようになっています。学習指導要領に例示 された「道案内」「電話」「買い物」などの言語の使用場面・働きが各学 年のレベルに合わせて効果的に配置されており、実践的な英語を運用で きるよう、多様な言語活動が設定されています。

〈3〉題材

- 場面は日本から始まって広く世界に目を向けさせるように構成されており、 国際理解を深め、国際協調の精神を養い、最終的には英語で自国の文化 や自分の考えを発信できる力を養います。
- 取り扱う国は英米に偏ることなく、ケニア、オーストラリア、フィンランド、 カナダ、オランダ、南アフリカ、トルコなど広く世界の諸国をカバーしてい ます。また、情報発信の観点から日本の伝統文化を紹介する題材も適切 に配置されています。

文・文構造・ 短文から重文・複文へ, 具体的内容の文から抽象的な文へと ■配列されており、適切で教えやすい構成になっています。 元々 高校で扱っていた現在完了進行形は関連した内容から発展的 に指導できるよう、また仮定法は学習者の負担を考慮し、3 学年の最後での学習というように適切に配列されています。

- 学年ごとの到達目標を設定し、各課で学んだ言語材料を活用したパフォー マンス活動 (Our Project) を行うことにより、4技能5領域の統合的な活 動ができる全体構造になっています。
- 「読む」活動を中心にする課 (Reading, Further Reading) が2年に3課, 3年に4課配置されています。

● 日常生活のみならず、環境、平和、人権、共生などSDGsに関連する現 代的課題を扱い、生徒に多様なものの見方や考え方について考えさせるす ぐれた素材が選定されています。さらに教科横断的な視点でカリキュラム マネジメントを考慮した構成になっています。

組織・配列と分量

〈1〉組織・配列

通常課(PROGRAM)では、新出の言語材料を含んだ2コママンガを左ペー ジに、その基本練習と活用的能力を養成するためのタスクを右ページに置い て見開きでScenes (①) として提示し、次の見開きThink (②) で本文をま とめて提示、次のRetell(③:1年は9課のみ)で本文を自分のことばで再 話する練習をし、Interact (4) でペアやグループワークを通して自己表現の 練習をしていくという4段階の構成になっていて、課を通じて4技能5領域を 総合的に扱うコミュニケーション活動ができるように組織されています。さ らに、各課で学んだ言語材料を使った4技能5領域の統合的な活動を行う Our Project が年間2~3回設けられており、全体として英語の総合的・統 合的な活動が学習事項を習得するシステムとして周到に組織されており、確 実に学力の向上が図れる配列となっています。

〈2〉分量

通常課 (PROGRAM) は1年10課,2年8課,3年7課で構成され,全学 年総授業時数の7割程度の配当時数となっており、3学年とも1年間で無理 なく教えられる分量となっています。

> 通常課で学んだ表現を 存分に発揮するパフォーマンス活動が Our Proiectです!

表記と表現

〈1〉表記

本文は適切な大きさの活字で表記されています。1年では手書き文字に近い 欧文書体が使われており、文字学習への細かな配慮がなされています。

〈2〉表現

英語は現代の標準的な表現が使われています。各課の初めに学習のめあて が示されており、学習の目標がつかみやすくなっています。質、量ともに豊 富な写真、挿し絵などは生徒の興味・関心を高め、理解を助け、深めるよ う工夫してあります。

造本、体裁など

- 造本は丁寧で堅牢です。環境に配慮した用紙やインキで印刷されていま す。
- 2 印刷は鮮明で見やすく、大判で詰め込み感のない、ゆとりある紙面構成 になっています。
- 3 巻末資料のカードは切り取り用のミシン目が施され、丁寧な配慮がなさ れています。
- **QRコードは見開きページの右上に置かれ、本文音声を中心に随所に入っ** ています。

学習指導要領への配慮について

- 「聞く」「話す」「読む」「書く」ことなどのコミュニケーション活動が相互 に有機的につながった構成となっており、コミュニケーション能力を養う という教科の目標を十分に満たしています。
- 2 内容面で、言語活動がしやすく、言語材料は易から難へと適切に配列さ れています。
- ❸ 教材は多面的かつ世界的な視野で取り上げられ、国際理解と国際協調の 精神の育成に配慮されています。